

# お知らせ

## 交通事故 発生は直ちに警察へ けがは市の保健係へ

恐ろしい交通事故で一生が台無しになつて不運な人生を送らなければならない人もあれば、ついさきほどまで楽しくとびまわっていたお子さんが何人も予期しない交通事故でその尊い生命を失なうというように、この悲劇のくり返しが毎日のように、新聞、テレビなどで報導されております。まことに憂れうべき現象ではありませんか。運転者はもちろん歩行者の皆さんも十分気をつけて今年は事故のない年にしたいものです。

さて、交通事故にあつて、けがをした場合、その損害は一体誰れが賠償してくれるのでしょうか。

それは警察でも政府でもありません。それはけがの大小にかかわらず加害者が損害賠償の責任があるのです。そのため

にも車を持つている人は万一の人身事故にそなえて自動車損害賠償保険に加入しておりますが損害額が保険額よりも上まつている場合は、当然その差額は加害者が支払わねばならないことになっていきます。それでは、何故交通事故にあつたら市の保健係に届けなければならないでしょうか。

なぜかといえば、もともと交通事故によるけがや損害は加害者が補償すべきものなのです。医者にかかつたり、入院したり、そのほかこまごました雑費にいたるまで、加害者が全部弁償して負担すべきものなのですが、その弁償が不十分であつたり、おくれたりする場合は健康保険を使うこととなります。健康保険を使うということは、つまり加害者が負担す

べき医療費を健康保険が代つて負担してやることで、あとで健康保険では加害者にその医療費を賠償することになります。ところが、被害者が届けでを怠ると健康保険の方では、医者にかかつた費用がはたして交通事故によるけがかどうかはわからないことになり、加害者に賠償金を請求する機会もなく終つてしまうことになり、健康保険の財政にとつてマイナスになるわけです。

健康保険の財政は、みんながお互いに助け合う精神で拠出する保険料や保険税などでまかなわれており、決して無駄に使うことは許されませんので、交通事故でけがをうけたら、必ず市の保健係に届けて、市の保健係と手を取りあつて問題を解決してください。

明けておめでとうございます  
今年も、納税についてはより一層の  
ご協力をお願いします。

### 1月の納税

県市民税

第4期 1月31日まで

保険税

第4期 1月31日まで

### 成人式のごあんない

とき 1月15日 午前10時  
(午前9時受付)

ところ 大館市民体育館

該当者 昭和19年4月2日から昭和20年  
4月1日までに生れた方で市内  
に住所を有する方

市の有権者数は 35,150人

前年より 262人の増加

市の選挙管理委員会は12月20日基本  
選挙人名簿登録者数を確定しました。  
男16,184人、女18,966人  
合計35,150人となり、昨年より262人  
の増加になっています。

## 入園児募集

### 桂城幼稚園

#### 1. 募集人員

1年保育者 約 100名  
昭和34年4月2日から  
昭和35年4月1日までの出生者

2年保育者 約 80名  
昭和35年4月2日から  
昭和36年4月1日までの出生者

#### 2. 募集期間

昭和40年1月10日から  
昭和40年1月31日まで

#### 3. 入園申込先

桂城幼稚園(市内水門前124番地)から  
関係書類もらつて桂城幼稚園に直接  
申しこむこと。

#### 4. 入園許可

身体検査と簡単なテストにより入園を  
決定します。  
検査月日は、2月3日(水)午後1時と  
します。

#### 5. 合格発表

2月10日午前10時  
当園において合格者の氏名を掲示し、  
個人ごとには通知しません。

## 道路に雪を捨てないでください

この冬の長期天気予報によれば、全般的に変動が激しく、とくに、1月から2月初期にかけては一時的な大雪が降るだろうと予想しております。

降雪が多くなると一般交通はもちろん火災、その他の災害発生時には消防自動車の運行や、消防活動に著しい支障を生

じてきますので、火災予防はもちろん、雪害から起る事故を防止するため、次の事項にご注意して、災害防止に万全を期してください。

### 必ず守つて欲しいこと

□ 各自宅前の道路および水利(貯水を

う、消火栓、池、流水)附近の雪を排除してください。

排除した雪は道路上に投出さないで空地および路面の片すみに捨て、通行に支障がないようにしてください。

□ 屋根から降した雪や積雪、冬囲いなどで、出入口が小さくなり、火災発生の際は例年死傷者が続出しておる実情です。出入口の雪、冬囲いなどには常に気をくばってください。

□ 屋根の雪おろしは適時実施して下さい。とくに木造老朽建物については、積雪量70cmをこえないうちに雪おろしを実施するとともに、事前に補強工事をするようにしてください。

□ 夜間には除雪作業を行なう関係上、夜間には路上に自動車を駐車しないようにして、道路の除雪作業にご協力ください。

□ 火災の際、消防自動車を通れない部落では、こたつ、ストーブのエントツ子供の火あそびには十分気をつけてください。

□ 消雪時には、道路上の永雪を取りのぞくために、ツルハシ、バールなどを使用するときは、たいせつな舗装面に傷をつけないように気をつけてください。